



どうぶつ にんげん つち 動物や人間はうめるとどうして土になるの

い 生きているものは、くさらない

にく やさい ほお つめ れいぞうこ い はや おそ
肉や野菜は、放っておけば、くさります。冷たい冷蔵庫に入れておけば、くさる速さは遅
くなりますが、やがてくさります。びせいぶつ ぶんかい つち
微生物が分解しているのです。土になるといのは、く
さって、かたし 形がなくなることをいいます。あるいは、つち
土にもどるともいいます。ほんとうに、
すな いし か
砂や石ころに変わるわけではありません。

どうぶつ かたし ほね ち しぼう しつ にく やさい おな い
動物の体は骨や血、脂肪、タンパク質などからできています。肉や野菜と同じですが、生
きている間は、あだ い けっしてくさりません。生きて生物はくさらせる せいぶつ
微生物の作用を防いでいま びせいぶつ さよう ふせ
すが、し 死ぬとこのような防衛のためのはたらきはなくなり、びせいぶつ さよう ぶんかい
微生物の作用で分解されてしま
います。

うめたほうがくさりにくい

どうぶつ したい ちちゅう ちじょう あめかぜ
動物の死体は地中にうめてもくさりますが、うめずに地上の雨風にさらしておくほうが、
ぶんかい ちじょう したい げつていど はっこつ ちちゅう すう
はやく分解されます。地上にさらした死体は、1か月程度で白骨になりますが、地中では数
げつ すうねん ちちゅう おんど ひく さんそ ぶんかい ひつよう
か月から数年もかかります。これは、地中のほうが温度が低いことと、酸素など分解に必要
すく げんいん
なものが少ないのが原因です。（監修・今泉 忠明）

